

建築計画、構造計画及び設備計画について、次の(1)～(10)の要点等を具体的に記述する。
 なお、要求図面では表せない部分についても記述する。【補足図は必ず記入すること】

注意:本内容は支援者からの情報に基づき作成したものであり、本試験内容と異なる場合があるので、参考として見て下さい。

(1) 講演等において、多目的ホールを多くの者が利用する場合があることを踏まえて、空間構成について考慮したこと

(7) 設計条件(建築物の用途や規模等)を踏まえて、建築物の構造種別・架構形式・基礎形式・スパン割り等を決定するに当たり、耐震性と経済性について考慮したこと

(2) 外部空間と屋内空間とのつながりを踏まえて、公園、カフェ及びカフェテラスの三つの関係性について考慮したこと

(8) 多目的ホールの構造計画(柱、梁、床、天井、スパン等)について考慮したこと及び部材の断面寸法

部材の断面寸法(mm)	大梁: ×	柱: ×		
	小梁: ×	壁: ×	床:	

(3) 「分館出口前のオープンスペース」について、設計条件を踏まえて工夫したこと

(9) 公園の眺望(西面及び南面)や自然採光を確保しつつ、冷暖房時の負荷抑制を図るために、建築計画や設備計画において工夫したこと(Low-Eガラスによる工夫を除く。)

【補足図記入欄】(必ず記入すること)	

(4) 「市民アトリエ」及び「ショップ」のそれぞれの「室の設え」について、特記事項を踏まえて考慮したこと

(5) トップライトを設けた吹抜けを、自然換気に有効利用するために工夫したこと

(10) 多目的ホームの空調方式について、その方式及び冷暖房計画で考慮したこと

【補足図記入欄】(必ず記入すること)	

(6) 屋上庭園(出口・通路及び客土範囲)における断面の構造等計画(梁断面、スラブ位置・厚さとしたときの考え方、バリアフリーの考え方及び防水の考え方)について考慮したこと

【補足図記入欄】(必ず記入すること)	断面構造:
	バリアフリー:
	防水: